

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 R7 年 3 月 31 日				
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		部屋を分けたり、テントなどを設置して個室を確保している	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5			利用者が増えた時に人員を増やす必要がある
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		スロープがあったり、用途に応じて部屋が分けられるようになっている	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		清掃や消毒は日々行うことが出来ている	整頓についてはより意識をする
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		別室があったり、セパレート、テントなどがある	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5		日々の振り返りを行っている	明確な日々の目標があると尚良い
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		年に1回実施しており、会議等も行い改善に取り組んでいる	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		日々の振り返りや、ミーティングなど意見交換する場面は多くある	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		5		現状では外部評価を行っていない
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		少なくとも月1回のペースで研修を実施している	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		公表している	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5		モニタリング等も定期的に行い、作成を行っている	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		作成の際には全体の会議を行い、検討を行っている	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		日々の振り返りなどを行い、定期的に情報共有できる時間を多く作り、支援を行うことが出来ている	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		日々の活動をリーダー制にしており、リーダーを中心に他の職員でも意見を出し合って活動を決めている	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		色々な意見を取り入れて様々なプログラムを提供するように取り組んでいる	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5		日々の利用状況に合わせた活動を提供するようにしている	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		開始前に必ず会議を実施している	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		終礼を行っており、日々の変化など共有している	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		毎日支援記録を作成している	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直し必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5		複数の選択肢からやりたい活動を選べる日を作っている	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	1		セルフプランが多く、会議などが少ない。必要に応じて参加出来るような体制は整えている
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5		家族様に協力をいただき、学校の予定などは把握するようにしている	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	2		こちらから園や他事業所に積極的に連絡を取っていく
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		5		まだ対象の児童が少ないが、体制を整えておく
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	4		必要に応じてこちらから連絡を取るようなアプローチを行う
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	3		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		5		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		日々の申し送りや、モニタリング際に情報交換を行っている	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		5		事業所で家族向けのプログラムを実施する
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		見学の際に事前にお伝えするようにしている	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		面談だけでなく、電子機器を利用して支援できる体制を整えている	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		5		本人だけではなく、家族に向けたイベントなどを実施していく
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		苦情解決のための体制を整えている	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5		積極的に更新している	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		保存場所などを厳重に行い、SNS利用の際にも注意して発信を行っている	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		特性に合わせて絵カードなどを利用している	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5			
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	1		一部の内容を家族に周知出来ていない部分もあるので、再度周知を行う
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		事業所の場所に合わせた訓練を定期的に実施している	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5			
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	1		植物アレルギーの子がいないため、対応したことがない
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	1		研修や訓練を行っているが、まだ不十分などところがあるように感じているので、日々改善していく必要がある
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	2		家族に対して周知や取り組み内容など不十分な部分があるため、取り組んでいく必要がある
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	1		全員に共有出来ていないときもある為、定期的に共有する機会を作り、周知を徹底する
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		定期的に研修を実施している	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5				